

### 第3回 幹事会議事録（案）

日時：2007年1月18日（木） 14:00～16:30

場所：弘済会館 4F 梅（西）

出席者：高橋委員長，関本幹事長，木村・五明・柵瀬・佐々木・古川・水谷・矢内の各委員兼幹事，織田・加藤・武田・田島・森屋の各幹事，埴田，東出の各シンポジウム担当委員，明田オーガナイザー

欠席者：大塚・東江の各委員兼幹事

#### 配布資料

- 第3回 幹事会議事次第
- 1 第2回 幹事議事録（案）
- 2 幹事会役割分担について
- 3-1 海洋開発論文集の進捗状況
- 3-2 第32回（2007年）海洋開発シンポジウムについて（案）
- 3-3 長崎港MAP
- 3-4 GLOVER GARDEN MAP
- 5-1 H19 特別セッション「沿岸防災－沿岸防災施設のマネジメントの導入に向けた展望と課題－」
- 5-2 H19 特別セッション「大水深海域の水産利用の促進を目的とした技術開発」
- 6 ホームページの充実について
- 7-1 平成18年度 第2回海洋開発委員会について
- 7-2 海洋開発委員会 内規

#### 討議内容

##### 0. 委員長挨拶

海洋開発委員会において，ホームページの充実，論文電子投稿・査読システムと「目に見える」活動が実施され，みなさんの努力に非常に感謝している旨の挨拶があった。

##### 1. 第2回幹事会議事録（案）の確認

幹事長より議事録の説明があり，メンバーに確認された。

##### 2. 幹事会役割分担について

主な特徴としては，特別セッションWGを改革WGから分けた点である。高橋委員長より，改革WGとの位置づけについて整理するよう依頼があった。議論の結果，改革WGは特別セッションを総括的に取り扱うが，当該年度の特別セッションについては，オーガナイザーを中心に作業を進めていくことで合意した。

また、WG担当者については、資料の最初に記載されている委員が総括を務めるが、それ以外のメンバーは、負担が集中しないよう随時変更して対応することとした。

### 3. シンポジウム準備状況

#### (1) 論文募集

五明委員兼幹事より、海洋開発論文集の進捗状況について説明があった。

1次査読結果の判定のための幹事会は、2月27日(火)15:00より、その準備のための論文WGは、同日の午前中に開催することとなった。開始時刻は後日連絡する。

WEBシステムの集計は、1月18日午前中現在、投稿者登録6名、投稿論文数2編。

#### (2) 会場、見学会、懇親会

会場について、メイン会場である長崎ブリックホールは既に予約済みで土木学会熊谷氏に振込を依頼している。委員会会場を予定している長崎新聞社の会議室は、仮予約の段階である。

見学会は、長崎港湾・空港整備事務所の対応で2日目の午後に2回予定している。乗降場所はブリックホールから路面電車で10分程度。多くの参加者を募るため、運航時間を2日目の午前・午後各1回にできないか再検討することとなった。

懇親会はグラバー邸で実施し、100名参加(1名6000円)で試算している。移動手段は路面電車2台の貸切を予定しているが、その誘導方法について検討することとなった。また、遅れてくる参加者についても現地受付の対応について検討することとなった。

### 4. 海の移動教室(案)

参加者の対象は、長崎市内の小中学校の理科の先生としている。

当日は学校の授業があるため、多数に参加してもらうことは難しいが、先生の研修の一環として実施すると、単独開催より参加しやすいという意見があった。

長崎県土木部のクルージングは、時節柄困難と思われるため、B案が有力である。

長崎県土木部からの要望については了承。

### 5. 特別セッション準備状況

#### (1) 沿岸防災ー沿岸防災施設のマネジメントの導入に向けた展望と課題ー

講演依頼予定者の田中氏(道路保全技術センター)、鈴木氏(清水建設)、筒井氏(電中研)については、正式な依頼を出すことで了承。被害損失評価の講演依頼者(未定)については、個人負担になる場合のみ投稿料免除・交通費支給することです。費用は、長崎市(県?)の誘致報酬(20~50万)を企てる予定。

#### (2) 大水深海域の水産利用の促進を目的とした技術開発

招待論文は、水産庁橋本計画課長・長崎県吉塚水産基盤計画課長・MF21大内氏・RITE間木氏の4名。各人とも内諾を得ているが、長崎県は課長補佐か係長が講演する可能性が高い。全員に正式な依頼を送付する。

深層水の専門家である高橋正征教授（高知大）は、多忙のため講演は不可能と考えられるが、できれば講演していただきたい。

### （３）特別セッションについて

発表論文の編数について、例年の６編は多いため、全４編として質疑時間を長くするべきではとの意見があったが、特別セッションの運営はオーガナイザーに一任することとする。

なお、特別セッションの総括論文は、翌年の海洋開発論文集に必ず掲載すること、２年目の総括については、前年度のみでも２年間の総括でもかまわないことが確認された。

## ６．ＨＰの充実について

１月末までに、次回の特別セッションの詳細をＨＰに掲載し、①アブストラクトのメ切案内、②ＨＰリニューアルを同時に cecom にて連絡を流すこと。

cecom に登録をしていない人への連絡方法については、ＨＰにて募集する（募集窓口は、幹事長が担当）。自動で収集できる方法はないか広報ＷＧで検討する。

海洋情報に関するリンク集を作ると、海洋開発委員会らしさがでて良いのではとの意見があった。

## ７．委員会について

第２回海洋開発委員会は、２月２７日（火）１３：００～１５：００で決定。

新任委員も委員会にはじめから出席する。幹事もオブザーバーとして出席する。

## ８．その他

特になし。

以上